

議 長	休憩前に引き続き、会議を再開いたします。
議 長	次に、質問順位 2 番 9 番議員 森脇明美君。
議 長	森脇明美君。
森 脇 議 員	おはようございます。通告に基づきまして一般質問を行います。 給食センターは老朽化により建替えられる予定ですが、コロナ禍の影響でなかなか進展が見られないように思います。米本町長はこの任期中に建て替えをしたいと公約で述べておられ、和木町での大型事業はこの給食センターの建て替えで一応終わると思います。そこで現在の給食センター業務の現状と建て替えについて伺います。 最初に、昨年から今年にかけての修繕費を伺います。 老朽等で修繕や補修が必要になったものがどれくらいあったのでしょうか。
議 長	森本教育委員会事務局長。
森 本 教育委員会 事 務 局 長	質問にお答えいたします。 令和3年度の修繕料の総額は174万円です。主なものは、LPガス供給設備に関する修繕3件で49万6千円、フライヤーの修繕、ガス回転釜の修繕で6万円です。 令和4年度は、8月末現在で修繕料は55万5千円です。主なものはスチームコンベクションの修繕に12万4千円、休憩室トイレの修繕に5万3千円となっております。
議 長	森脇明美君。
森 脇 議 員	今、修繕費についてお尋ねしまして、あまり高額ではないように感じますが、今回の修繕費を伺いまして、今年度の修繕費は予算内に収まると想定されておりますか。どうでしょう。

議 長	森本局長。
森 本 教育委員会 事務局 長	今年度の修繕料の予算につきましては、137万円となっております。8月末現在で、修繕料は55万5千円の支出でございますが、今年度予算の範囲で収まるかどうかはまだ未定でございます。修繕料が予算の範囲内で収まらなければ、給食を提供するのに支障がないよう補正、予備費で対応するという事になるかと考えております。
議 長	森脇明美君。
森 脇 議 員	今後の動向に注視して行きたいと思えます。 今年度は和木町も30度を超える真夏日が続きました。給食センターで働く方のコロナ禍対策と熱中症対策はどのようにされたのでしょうか。
議 長	森本局長。
森 本 教育委員会 事務局 長	コロナ対策として、場内では特別な措置は行っておりませんが、コロナ禍以前から通常の感染症対策として、手洗いの徹底を実施するとともに、窓の開放と換気扇を併用し場内の換気を行っております。 熱中症対策としては、給食センター調理場内は高温となるため、スポットクーラー4機を設置しております。 今年度は調理員休憩室の窓に遮熱シートを張り、室内の温度が上がらないようにするとともに、サーキュレーターを購入し冷房効率を高めております。また、作業中の熱中症対策のため、経口補水液を購入し常備しております。
議 長	森脇明美君。
森 脇 議 員	いろいろ対策されているようですが、引き続き働く方々の健康に留意した対策を継続していただきたいと思えます。

次に、最近の円高やロシアのウクライナ侵攻等の影響で、物価の高騰により材料費が高額になることが予想されます。給食運営に支障はありませんか。メニューの工夫など色々大変だと思いますが、事業は予算内で出来ているのでしょうかお尋ねします。

議 長 森本局長。

森 本 現時点では、賄材料費、燃料費などが高騰しておりますが、
教育委員会 予算の範囲内で賄うことができております。ただし、今後の状
事 務 局 長 況によっては、補正予算による対応が必要になることも考えら
れます。

議 長 ちょっと暫時休憩します。

休 憩 9 時 3 3 分

再 開 9 時 3 3 分

議 長 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

議 長 森脇明美君。

森 脇 議 員 先程、最近の円高と申しましたが、円安の間違いでした。す
いません。

次の、事業はまあ予算内でできているということですが、今後物価の高騰により材料費の質が低下しないことを望み、次の質問を行います。

以前より一般質問しておりますように、給食センターの老朽化により建て替えられる予定ですが、現在の建て替えの進捗状況をお尋ねします。場所の候補地はあるのでしょうか。あれば

		教えてください。
議 長		森本局長。
森 本 教育委員会 事務局 長		給食センターの建て替えにつきましては、基本的な設備の方向性を示す基本構想を作成するため、本年度から都市建設課内に施設整備室を配置し、連携して新たな給食センターの設備に関する、給食センターの整備に関する検討を進めているところでございます。 候補地につきましても、基本構想と併せて検討を進めておりますが、現時点では未定でございます。
議 長		森脇明美君。
森 脇 議 員		新たに施設整備室を配置されるということで、今後検討をよろしくお願いいたします。早急に場所の選定もお願いいたします。 以前より施設はセンター方式を採用し、床についてはドライシステムを採用すると聞いておりますが変更はありますか。
議 長		森本局長。
森 本 教育委員会 事務局 長		本町は現在でもセンター方式で運営しております。今後についてもセンター方式で検討をしております。 また、施設設備につきましては、子供たちにより安全で安心な給食を提供する必要があるため、ドライシステムの採用をはじめ、学校給食衛生管理基準等に沿って整備することとなります。
議 長		森脇明美君。
森 脇 議 員		変更がないという事で理解いたしました。 給食事業の運営については公設民営や公設公営などがあり

ますが、どのように考えておられますか。

議 長 森本局長。

森 本 施設の設計や建設から運営方法などの事業方式については、
教育委員会 公設民営や公設公営などの他にも様々な事業方式があります。
事務局 長 このことについても、多様な観点から本町にとって有益な方法
を検討しているところでございます。

議 長 森脇明美君。

森 脇 議 員 色々お尋ねしましたが、早期実現に向け進めていただきたい
と思います。

次に、以前より防災関係について、避難場所等における町の
対応を聞いてまいりましたが、今回は相次いで発生する線状降
水帯やゲリラ豪雨等の対応を踏まえ、災害発生時の避難体制に
ついて伺います。

最初に率先避難、呼びかけ避難の体制づくりがどのようにな
っているのかお尋ねします。

議 長 渡邊企画総務課長。

渡 邊 企 画 それでは森脇議員のご質問にお答えいたします。

総 務 課 長 山口県では土砂災害警戒区域などの災害リスクの高い地域
が県下に点在していることから、「逃げ遅れゼロ」の実現に向
け、県と市町が一体となって率先避難体制づくりを推進してま
いりました。

本町では、取組の初年度である令和元年度に土砂災害警戒区
域が存在する山の手地区を率先避難重点促進地域に指定し、自
治会（＝自主防災組織でございますが）の役員への説明、地区
住民への説明、この2つを行っております。令和2年度は、瀬
田1・瀬田2・関ヶ浜1丁目・関ヶ浜2丁目の4地区を地域指
定し、自主防災組織役員への説明を行っております。ただし、地

区住民への説明を経て、呼びかけ避難の連絡体制を確立後に避難訓練の実施によりその実効性を検証してはじめて「体制づくりが完了」とされていることから、新型コロナウイルスの影響で避難訓練が実施されていない現時点では、いずれの地区においても「体制完了」とはなっておりません。

山口県が推進する率先避難体制づくりの取組は今年度が最終年度ですが、県下の市町で体制づくりの事業が進んでいない現状から、今年度中に呼びかけ避難の連絡網の作成をもって避難体制の完了とみなすとされております。これを受け、町では新型コロナウイルスの状況を見極めながら、自主防災組織と協議し、呼びかけ避難の連絡表の作成を依頼したいと考えております。

議長

森脇明美君。

森脇議員

コロナ禍の中、なかなか実践が難しいと思いますが、今後の活動に期待いたします。

和木町は自主防災組織100%と聞いております。この自主防災組織もできあがってから数年経ちますが、コロナ禍で活動が出来ていないと思います。町はその辺をどう把握しておられますか。避難体制の促進には自主防災組織が大きな役割を持つと思いますが、現状把握を伺います。

議長

渡邊課長。

渡邊企画
総務課長

森脇議員ご指摘のとおり、避難体制づくりを促進していくにあたり、自主防災組織が果たす役割は非常に大きいものと思います。

令和元年度までは、町内の各自主防災組織において防災訓練が計画・実施され、依頼を受けて役場の防災担当や危機管理監が講話や訓練の支援をさせていただいたこともございます。しかしながら、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による人と人との接触する機会をできるだけ少なくする

ようになりまして、自主防災組織の活動にも影響を現在及ぼしていると考えております。

議長 森脇明美君。

森脇議員 今、自主防災組織の現状について伺いましたが、なかなか活動も難しいように思います。自主防災組織の活動には、防災リーダー・支援員の果たす役割が大きいと言われていています。現在町でも防災リーダー・支援員を要請されていますが、人数と内容をお聞かせ下さい。

議長 渡邊課長。

渡邊企画総務課長 本町では、山口県の養成研修を受講し防災士の資格を取得した14名が「和木町自主防災アドバイザー」となっており、このうち9名の方が「山口県自主防災アドバイザー」として登録されています。

また、昨年度の山口県率先避難体制づくり支援要員養成研修を受講した4名が「避難体制づくり支援員」に登録され、いずれも地域の防災リーダーとしてご活動いただいております。

議長 森脇明美君。

森脇議員 人数と内容については把握しました。この方たちの活動内容をお尋ねいたします。

議長 渡邊課長。

渡邊企画総務課長 防災リーダー避難体制づくり支援員の方々、自主防災組織の要請に応じて、防災講話や地区の防災訓練などを積極的に支援するのが主な活動でございます。

議長 森脇明美君。

森 協 議 員	コロナ禍の中、総合防災訓練が令和5年、来年に予定されているようですが、どのような防災訓練を考えておられるかお尋ねいたします。
議 長	渡邊課長。
渡 邊 企 画 総 務 課 長	今、議員おっしゃいましたように、令和5年度には、「和木町総合防災訓練」を企画・実施したいと考えております。 この概要は、町内で大規模災害が発生することを想定した住民参加型の実践的な内容とし、実施の時期については、出水期が終了した秋以降を予定しております。 住民の方々には、自主防災組織ごとに避難所への避難や避難所での受付業務など実際に体験していただく予定でございます。この際、和木町防災アドバイザーの皆様には、各自主防災組織のリーダーとして避難行動の支援や指導及び評価をお願いする予定としております。 来年度になりましたら、各自主防災組織と連携・協議して、訓練内容の具体化を進めてまいりたいと思っております。
議 長	森協明美君。
森 協 議 員	ぜひ住民参加の総合防災訓練を実施していただきたいと思います。 和木3丁目のさくら公園から蜂ヶ峯公園に抜ける県事業の防衛道路ですが、災害時の避難には有効な避難道になります。この県道の進捗状況についてお尋ねいたします。
議 長	山下都市建設課長。
山 下 都 市 建 設 課 長	県道蜂ヶ峯公園線の進捗についてお答えいたします。現在用地測量及び設計を終えておりまして、用地買収を行っている状況でございます。令和5年度につきましても引き続き用地買収を実施する予定であると聞いております。

議 長	森脇明美君。
森 脇 議 員	県道の進捗状況については理解いたしました。 次に岩国・大竹道路の事業内容について伺います。 ご存知のように岩国大竹道路は、国道2号線の交通混雑の緩和や交通事故の減少、広島県と山口県の広域的な交流を図ることを目的に、平成13年から事業が始まっています。様々な事情で事業が進んでいませんが、この令和4年度から岩国トンネルの掘削工事が始まると聞いています。トンネル工事では、和木町の関ヶ浜から岩国市室の木に向かい掘削を始められるようですが、掘削工事が始まれば工事車両の通行などで、地域住民の方々に影響を及ぼします。工事は国が行いますが、町民の皆さまの心配もあり、事業内容や国の対応を伺います。 最初に、トンネルの掘削工事の日程と工事の詳細を伺います。
議 長	山下課長。
山 下 都 市 建 設 課 長	岩国トンネルの工事の詳細についてでございますが、町長の行政報告にもありました様に、間もなく、今月9月中旬あたりから重機によるトンネル掘削工事を開始する予定でございます。 今回の工事では、岩国トンネル全延長の2,920mの内、和木町側から約2,400mのトンネル工事を行うもので、工期につきましては令和7年3月末となっております。
議 長	森脇明美君。
森 脇 議 員	詳細については分かりました。 次に掘削して搬出される土砂の運搬方法と処理先をお聞かせ下さい。
議 長	山下課長。

山下都市 建設課長	今回のトンネル工事においてですね、発生する残土処分についてでございますが、この工事により発生する残土につきましては町内への搬入はございません。 発生した残土については、すべてダンプトラックにより運搬され、関関バイパスを経由して岩国市内の残土処分場に搬入すると聞いております。
議長	森脇明美君。
森脇議員	掘削による土砂の運搬方法や処理先については理解いたしました。 そこで工事中の通学路の安全確保は大丈夫かお尋ねいたします。
議長	山下課長。
山下都市 建設課長	工事期間中の通学路の安全確保についてですけれども、朝の通学時間帯におきましては車両の出入りは行わないということでございます。以後の作業時間中につきましては車両の出入り口に交通誘導員を配置するとともに、看板設置等の安全対策を実施し歩行者の安全を確保することとなっております。
議長	森脇明美君。
森脇議員	交通誘導員を配置され、安全確保には充分留意された工事が進められるという事です承しましたが、このトンネルの掘削工事での騒音や振動はどのように対処されるのでしょうか。また、地域住民への説明会は行われたのでしょうか。騒音や埃などの苦情はどこが対処されるのでしょうか。
議長	山下課長。
山下都市	この工事に関する騒音等の対策、それと住民への説明会の実

建設課長

施という事でございますが、まず地域住民に対します説明につきましては、行政報告にもありました様に、先々月の7月15日の金曜日に和木町公民館関ヶ浜分館におきまして国土交通省及び工事請負業者による事業説明会を開催し周知しておるところでございます。

また関ヶ浜地区の皆様へは、8月より毎月「工事のお知らせ」と題した、作業時間・工事内容及び規制に関する情報を記載したお知らせ文の配布もおこなっておるところでございます。

続きまして工事による騒音や振動への対策についてでございますが、当町の騒音や振動の基準値を確認しておりまして、必要となる防音扉などの対策を実施し、施工をおこなうこととしております。

トンネル掘削開始から約100m地点までにつきましては超低騒音型の機械による昼間のみの工事、施工でおこないまして、その際にトンネル坑口、トンネルの入り口付近にですね、防音扉を設置いたします。

その後、約200m地点までは、昼夜で機械掘削をおこなったのちに、発破掘削による昼夜の施工へと切り替わる予定となっております。

地域住民の方々に対し影響を及ぼすことが無いよう細心の注意をはらいながら生活環境の保全に努めて事業を行う予定となっております。

最後に、岩国大竹道路の工事に関する問い合わせというところでございますが、住民説明会において配布した資料並びに毎月の工事のお知らせ文に発注者及び施工業者の連絡先を記載しておりますけれども、都市建設課としても対応いたしますのでお問い合わせしていただければと思っております。

議長

森脇明美君。

森脇議員

説明会も行われ苦情については、施工業者や国が対処するという事で安心いたしました。地域住民への説明会をしたという事でしたが関ヶ浜地区で行われております。瀬田、和木地区の

方々も、北中山岩国線を利用されると思いますが、周知はどのように考えておられますか。

議長 山下課長。

山下都市建設課長 工事場所である関ヶ浜地区において事業説明会の方は開催しております。他地区への周知ということでございますけれども、今回の説明会の案内につきましては、地元地区への回覧、あと町議会の方にもお知らせはさせていただいておる状況でございます。今回の工事につきまして、工事場所がある種限定的であるということとですね、あとまあ小瀬川沿いの主要道路が県道北中山岩国線、こちらの方の通行規制を伴わない工事ということで、できるだけ地元に向けた周知をしておるというところでございます。

議長 森脇明美君。

森脇議員 了解しました。

この岩国大竹道路は完成すれば、国道2号線の交通混雑にもかなり緩和されると思います。安全には十分に配慮され早期実現に向け、工事が進められることを懇願いたします。

以上で一般質問を終わります。

議長 再質問ございませんか。

森脇議員 ありません。

議長 再質問がないようですので、以上で森脇明美君の一般質問を終わります。

議長 ここで暫時休憩いたします。
15分休憩いたします。
10時10分から始めます。

休 憩 9 時 5 5 分

再 開 1 0 時 1 0 分